

教科書：詳説日本史B（山川出版社）

副教材：詳説新日本史史料集成（第一学習社）、歴史資料館・日本史のライブラリー（とうほう）

## 学習目標

本校の地理歴史科の目標

我が国の成り立ちや歴史的過程の生活・文化の特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

第6学年の目標

わが国の近世および近代の大正・昭和史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。また、大学受験における基礎力・応用力を身に付けさせる。

## 学習方法

- (1) 授業で扱う歴史的事象を、大きな歴史の中で確認する。
- (2) その歴史的事象の説明を大まかに理解する。
- (3) その歴史的事象の背景や原因、理由や経過、結果や意義についての疑問をもつ。
- (4) 生じた疑問についての検証を多角的におこない、解決を図る。
- (5) この時間内に学習した事項を、演習問題などで徹底して復習する。

## 評価の観点・方法

以下の4観点に基づき、生徒一人一人の学習状況を単元ごとに評価をします。

|                         |                                                   |   |   |   |   |
|-------------------------|---------------------------------------------------|---|---|---|---|
| 観点① 歴史的事象の<br>関心・意欲・態度  | 歴史の事象や課題について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。                 |   |   |   |   |
| 観点② 歴史的な思考<br>・判断・表現    | 歴史の事象や課題について、その背景や原因、問題点を論理的にまとめ、発表しようとしている。      |   |   |   |   |
| 観点③ 資料活用<br>の技能         | 資料や文献を多面的な角度から分析しようとしている。                         |   |   |   |   |
| 観点④ 歴史的事象に<br>ついての知識・理解 | 歴史の事象や課題について、その特色や意義を知り、相互の関連を理解し、その知識を体系化し、活用する。 |   |   |   |   |
|                         | 評価の方法\観点                                          | ① | ② | ③ | ④ |
|                         | 学習態度の観察                                           | ○ | ○ | ○ |   |
|                         | 課題などへの取り組みと提出物                                    | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
|                         | 授業内テスト                                            | ○ | ○ |   | ○ |
|                         | 定期考査                                              |   | ◎ |   | ◎ |

## 学習内容

|             | 具体的な学習到達目標                                                                                                           | 学習内容／教材                                                             | 特記事項・他 |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|--------|
| 1<br>学<br>期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代から近世までの歴史の変遷を理解できる。</li> <li>・政治史、経済史、文化史等ひとつのテーマによる歴史事項を理解できる。</li> </ul> | 大学受験に対応したテーマ学習と問題演習<br><br>／教科書・史料集・図録とプリント<br>問題集                  |        |
| 2<br>学<br>期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代から現代までの歴史の変遷を理解できる。</li> <li>・政治史、経済史、文化史等ひとつのテーマによる歴史事項を理解できる。</li> </ul> | 大学受験に対応したテーマ学習と問題演習<br><br>／教科書・史料集<br>図録とプリント・問題集                  |        |
| 3<br>学<br>期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーク・記述・論述問題に対応した演習により、総合力の充実を目標とする。</li> </ul>                               | ○ 大学入学共通テスト対策演習<br>○ 国公立2次・私大対策演習<br>／教科書・史料集・図録とプリント<br>問題集・問題プリント |        |

### 学習のアドバイス

- 歴史的事象と現代の世界を関連させて考えること。
  - 世界の歴史を学ぶことは、我々が生きているこの現代の社会を理解することに直結する。
  - 皆さんがこれから、現代の世界でどう生きていくかということを考えていく大きなヒントになる。
- 授業で扱った歴史的事象に関連する書籍を読んだり、映画を観たり、博物館に行くこと。
  - 関連する地域や時代に興味・関心が出てきて、自ら課題を持って学びたくなる。
  - 思わぬ気付きや発見があって、学習意欲が高まるとともに、歴史的理解が一層深まる。
- 新聞やインターネットで時事問題に出来るだけ触れ、世の中の出来事に興味・関心をもつこと。
  - 時事問題の様々な構成要素に、授業で扱ったことや関連事項が意外に多いことに気付く。
  - 現代からの視点、過去からの視点、未来からの視点、など多角的なものの見方・考え方が身に付く。

### <STEAM 教育との関連>

- ・各時期における統計データ資料を分析して、歴史的事項を理解する (数学・統計的思考)